

巻 頭 言

病院事業管理者兼病院長 大石 正博

秋涼の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本稿を執筆しております9月下旬、ようやく連日の猛暑も和らぎ、朝夕には肌寒さすら覚える秋の訪れを感じる頃となりました。

さて、昨今の医療界におきまして最大の関心事は、診療報酬改定および新たな地域医療構想の動向かと存じます。当院は地域包括ケア病棟を有するケアミックス病院として地域医療を支えてまいりました。今回の改定において当院は急性期病院Aを届け出ておりますが、将来的な地域包括ケア病棟との併設見直しなどに伴い、重症度、医療・看護必要度の維持をはじめとする経営舵取りは一層厳しさを増すことが予想されます。当院のようなケアミックス病院におきましては、この1年間で将来を見据えた明確な病院方針を策定することが急務となっております。また、新たな地域医療構想においても各医療機関の機能明確化が求められており、当院としては高齢者救急および地域急性期機能を果たすべき重要な役割と位置づけ、その体制を強固なものとしてまいる所存です。

このような変革と試練のただ中であっても、当院は未来を見据えた電子カルテの更新という大プロジェクトを推進しております。医療DXの導入による業務効率化と、現場のニーズに即した高度な医療情報の活用を目指し、職員一丸となって尽力しております。

こうした激動の環境下におきまして、このたび『鳥取市立病院業績集 第32巻』を無事に刊行できますことを、誠に嬉しく重厚に受け止めております。まずは、日々真摯に業務へ取り組み、多くの成果を挙げてくれた職員一人ひとりの努力と研鑽に対し、心より深い敬意と感謝を表します。皆様の献身的な姿勢こそが、患者さんへ質の高い医療を提供する原動力であり、当院の信頼を支える基盤となっております。

本書を通じて、厳しい環境のなかでも絶えず成長と進化を続ける当院の歩みと熱意を感じ取っていただければ幸いに存じます。

結びに、地域の皆様ならびにご協力いただいている関係各位のご健勝と、実り多き秋となりますことを心より祈念申し上げ、巻頭の挨拶といたします。

令和8年9月

【病院理念】

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

【基本方針】

地域の中核的病院として、他の医療機関との連携、協調のもと、二次医療を中心に頻度の高い三次医療まで担当するなど、地域における医療福祉の向上に努め、地域住民の命と健康を守るため、医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指す。